

佐渡市におけるトキとの共生と有機農業の推進

～オーガニック・エコロジカルな島づくり～



2022年9月16日 「オーガニックライフスタイルEXPO」

新潟県 佐渡市 農林水産部 農業政策課

朱鷺認証米のきっかけ トキの野性復帰

トキの餌場

- 深くない湿地
- 生きもの
豊かな田んぼ

トキが定着した
安全・安心なお米

佐渡全体での
生息環境の再生が重要

佐渡米の「ブランド化」へ

朱鷺と暮らす郷づくり認証制度

- 佐渡で栽培されたお米であること
- 「生きものを育む農法」により栽培
- 生きものの調査を年2回実施
- 農薬・化学肥料を削減した栽培
(慣行比5割以上減)
- 畦畔に除草剤を
散布していない



生きものを育む農法とは？



江の設置

A photograph showing several workers in a rice paddy field. One worker is in the water, while others are on the bank. A white van is parked on a gravel path to the left. The field is filled with young rice seedlings.

田んぼやその周辺に
生きものが住める環境をつくる



魚道

A photograph of a fishway structure, which is a series of concrete steps or barriers designed to allow fish to pass through a stream. The structure is built into a concrete channel, and the water is flowing over it.



ビオトープ

A photograph of a biotope in a rice paddy field. The field is filled with young rice seedlings, and there is a small pond or water feature in the foreground. The background shows a dense forest.



畔草刈り(除草剤を使用しない)

A photograph of a worker using a brush cutter to clear weeds in a rice paddy field. The worker is standing on a grassy bank, and the brush cutter is cutting the weeds. The background shows a dense forest.

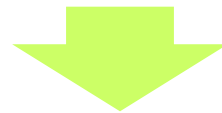
朱鷺と暮らす郷づくり認証制度

田んぼの生きもの調査の実施
(生物多様性への視点)



農家だけではなく、子どもたちや都市住民も参画

都市との交流



環境教育

トキの野生復帰が小さな「命」に目を向ける仕組みに

世界が認めた
佐渡の農業！

世界農業遺産

Globally Important Agricultural Heritage Systems



佐渡島のトキとの共生をめざした「生きものを育む農法」や棚田などの風景、伝統的な農文化などが評価され、2011年、国連食糧農業機関（FAO）より日本で初めて、先進国で初めて世界農業遺産（GIAHS）に認定されました。

トキと共生する

郷づくりをめざし

日本で初めて

「世界農業遺産」に

認定されてから10年

佐渡米ブランドを

確立してきた。

これからの10年は

「トキ」も「ヒト」も

暮らしやすい郷づくりへ

佐渡島を、日本の未来を

支えていく子どもたちに

佐渡島で作られた

すばらしい農産物を届ける

持続可能な農業生産

島内の資源循環

新たな佐渡島ブランドの

挑戦が始まる



佐渡の有機農業がめざす先

(イメージ図 米を中心に)

地域の活性化

米価
の低迷

資材の高騰
(資源の枯渇)

農家の
経営難

高齢化
担い手不足

地域の疲弊

有機農業
の推進

農薬の削減

化学肥料の削減

栽培技術の向上

農産物の安全安心

コスト削減

生物多様性の保全

益虫の増加

環境負荷の低減

地域資源の循環

佐渡米の
販売力強化

産地の
イメージ向上

農家のやりがい

ヒトも生きものも
安心して暮らせる
まちづくり

米の消費の拡大

農家の所得向上

水田の維持

新規就農者
の増加

移住定住促進

学校給食

食育活動の
活発化

食・農に対する
理解醸成

残食の減少

すぐれた人材

健康な心と体

調理者のやりがい

郷土愛

栽培技術の向上

佐渡島のみどり戦略本格始動！
有機農業で佐渡の未来を切り拓こう

2022
有機栽培研修会

内容
+ 水田除草機実演会
6月17日(金)
9:00~12:00

第1部
水田除草機の実演
(人竹実作所・みのる農業・実作)

第2部
有機栽培実証ほ視察
(自然栽培・無農薬栽培)

第3部
休耕田を活用した
自然栽培
(逆転の発想で低コスト高生産)

第4部

集合場所 J A 佐渡 カントリーエレベーター前
(佐和田市舟新保74)

草に勝たない、草に負けない農法とは？



「有機栽培研修会」には100名の参加者が！

保育園・学校給食への有機食材を 試験的に導入開始※

※ 小中学校は、1か月限定、無農薬無化学肥料栽培米を提供
島内保育園は、継続した提供を開始

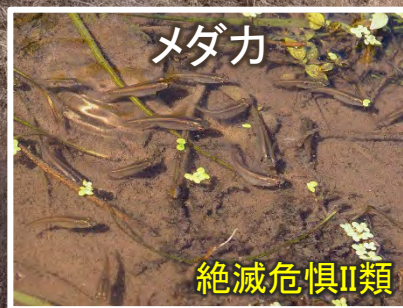
給食を地域で支える仕組みづくり



子どもたちの笑顔が
地域と農家をつなげ
元気にする原動力に！



田んぼが消えると



生きものが消える（絶滅）

お米を食べることは
田んぼや生きものを
守ることなんだ！



無農薬のお米を試験導入して

すでに出てきた、こんな声

子どもたちが食べているお米を私も食べてみたい。どこで買えるのか？

話題の佐渡の有機米を商品ラインナップに入りたい(大手生協)

とても、おいしかったようで、子どもが夏休みの自由研究でお米について調べている。

不登校の子どもが学校に行くようになった！



農家の声

地域の人にもっと
知ってもらってもっと
盛り上げてほしい。

長年苦勞して有機米
を作ってきたけど、地
元の子どもが食べて
くれるようになったの
はとてもうれしい。

来年から私も有機栽
培に挑戦したい！



今後はこういう声に期待したい

島内の旅館やホテルでも使ってみたい

お土産にしたい

佐渡米を買いたい
契約したい



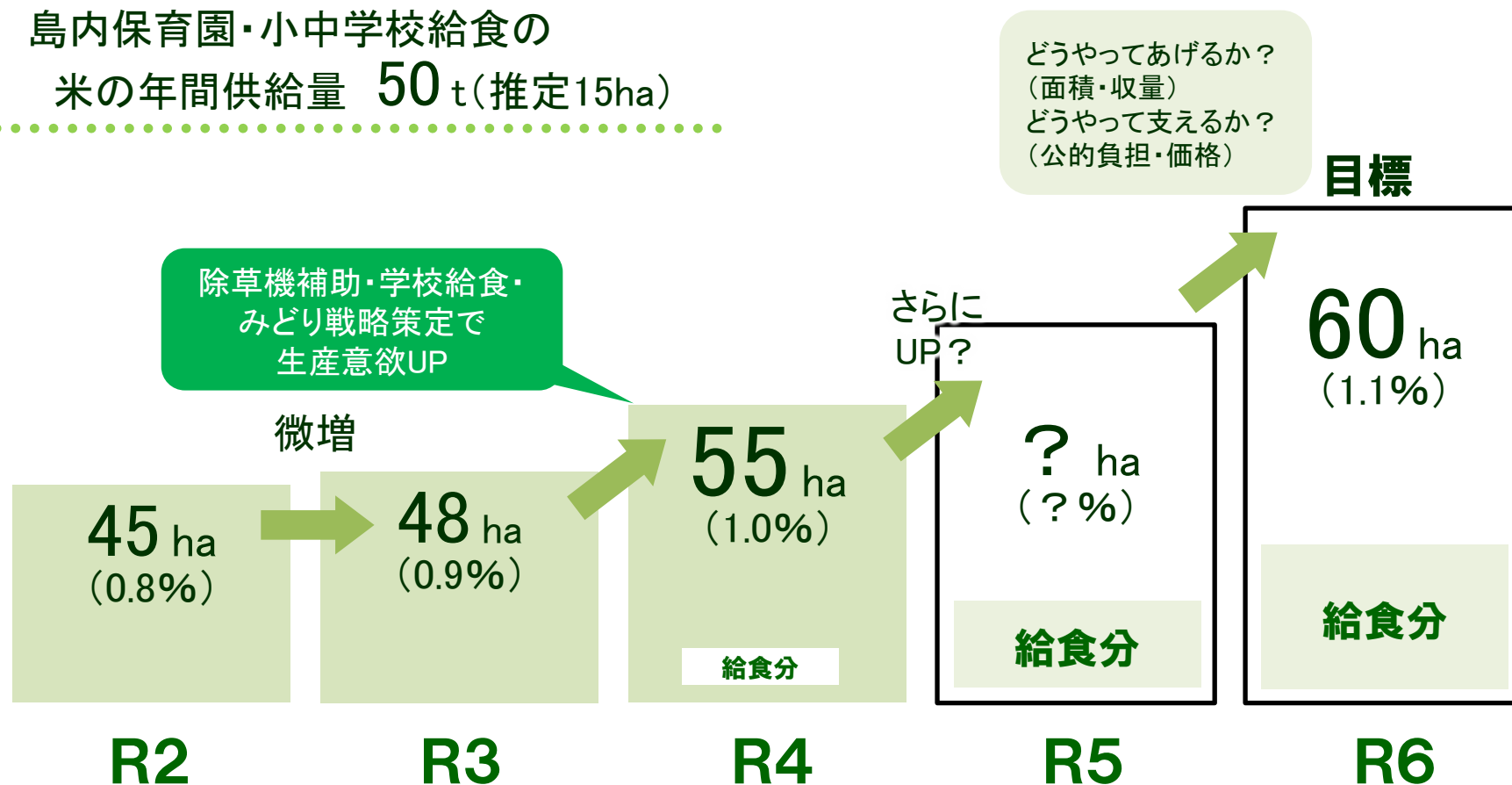
自然が豊かで、すばらしい島ですね。一度行ってみたいな！

島を上げて有機農業をやっているなんてすばらしい！私もそこで農業をやりたい！

すばらしい教育環境ですね。
家族で移住して子育てをしたい！

佐渡島のみどり戦略は

島内保育園・小中学校給食の
米の年間供給量 50 t(推定15ha)



佐渡市内無農薬無化学肥料栽培米実績 ※()は島内シェア率

◆
今後の課題
◆

・ 行政コストの負担の議論・理解

これから誰がどうやって支えるか

・ 島内物流・調理システムの再構築

どうやって届けるのか、加工・調理するか

・ 食育活動の推進

子どもから変わる、子どもが地域を変える

・ 生産性の向上

経営も持続可能な取り組みに

・ 省力化技術の推進

農家の体にもやさしい農業を

・ 新規参入者の支援・ネットワーク化

勇気をもって有機を志す人を応援する

・ 販売力の強化・認証制度の検討

商品の価値をどう伝え、共感をよぶか

ごはんに変な黒い粒
が混じっていた。不潔
だな。

おかしい農薬を使っ
ているかもしれない。
心配だ。

私たちの健康のため
に有機農産物を
もっと安く
たくさん
作るべきだ



農家は薬に頼らない
で環境に配慮すべき
だ。

農薬を使った農産物
なんか食べたくない。

食と農をむすび、ともに歩む関係に

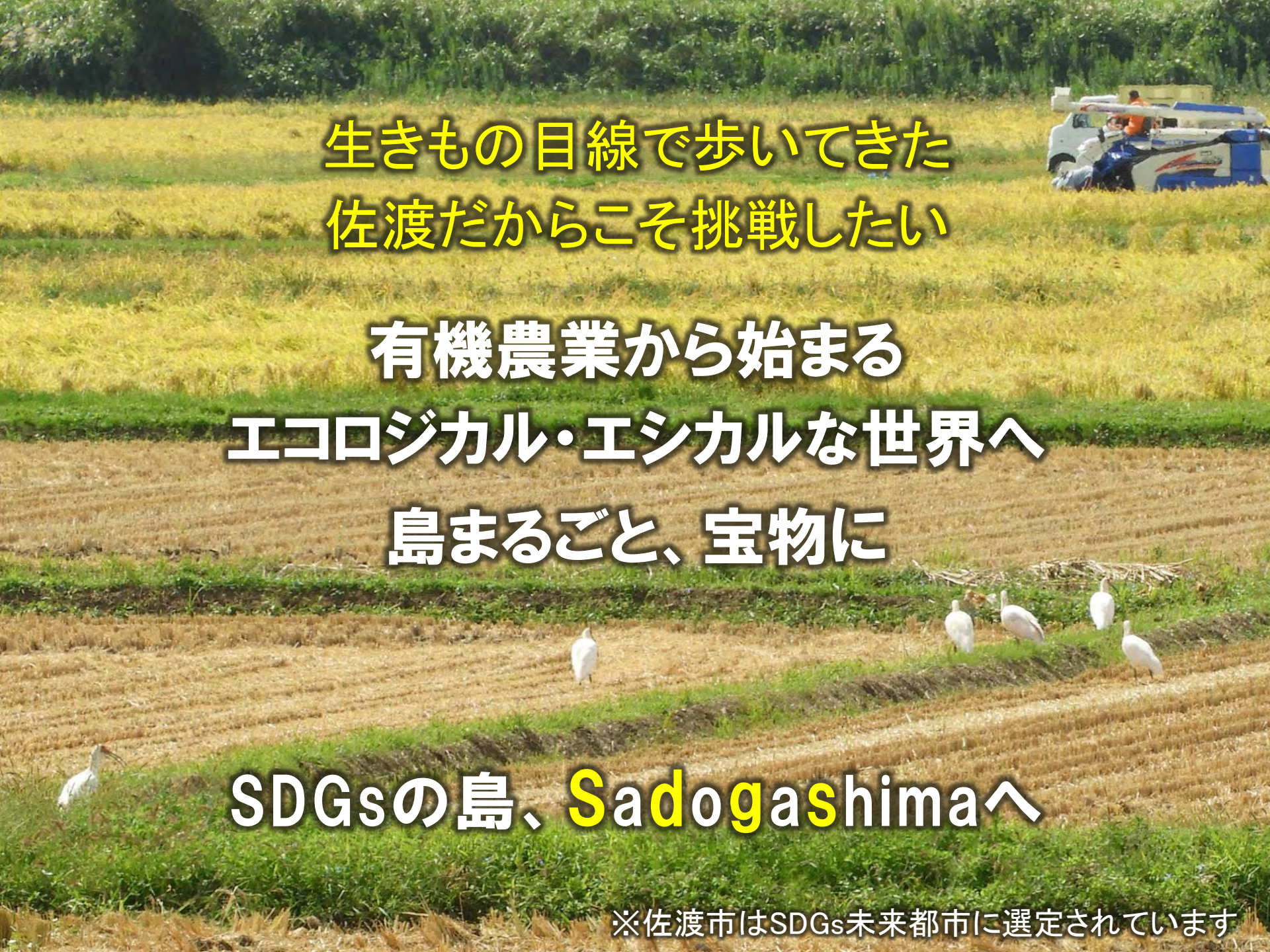
有機農業でがんばる
農家を応援したい

佐渡の豊かな自然を
守るために、島の農
業を応援したい、買い
支えたい

お金を出して食べるだけではなく、
農家と交流してみたい。話が
聞きたい。

自分の健康だけでなく、
農家や生きもののこと、
環境のことも考えたい





生きもの目線で歩いてきた
佐渡だからこそ挑戦したい

有機農業から始まる
エコロジカル・エシカルな世界へ
島まるごと、宝物に

SDGsの島、**Sadogashima**へ

※佐渡市はSDGs未来都市に選定されています